

おおつきししょう しゃぶくし かい
大月市障がい者福祉の会

おたより

ねん がつはつこう
2021年12月発行

ぜんごう やくいちねん へ はっこう
前号から約一年を経ての「おたより」発行となりました。

あいだ みな か す
その間、皆さんはお変わりなくお過ごしでしたでしょうか？

すこ いちねん ぶ かえ
少し、この一年を振り返ってみましょう！

はる 春…花見に行かれましたか？一昨年は緊急事態宣言で人々の密を避ける為、
はなばな き お こうえん ちいき
花々が切り落とされる公園や地域のニュースがありましたね。

なつ 夏…コロナ感染者数が増えてきて、ワクチン接種が本格的に始まりました。
せつしゅ みな ふくはんのう だいじょうぶ なかかいさい とうきょう
接種された皆さん、副反応は大丈夫でしたか？そんな中開催された「東京オリン
ピック2020」と「東京パラリンピック2020」は、複雑な気持ちで応援しました。

あき 秋…ワクチン接種率が上がっていき、感染者数は下がってきました。少し
きも らく こうよう み で おい もの た い
気持ちが楽になり紅葉を見に出かけたり美味しい物を食べに行ったりしましたか？

ふゆ 冬…3回目のワクチン接種、コロナ治療の飲み薬の承認など、まだまだ
しんぱい つつ かぶ かんせん ひろ ねが
心配は続いています。オミクロン株のコロナ感染が広がらないようにと願います。

ウィズ らいねん みな あ
これからはWITHコロナですね。来年は皆さんに会えますように！

かいちょう
会長あいさつ

ふじ もと けん ぞう
藤本 兼三

かいいん みな ひび ふくし かい かいいんそうご
会員の皆さまには、日々、福祉の会、会員相互の
ふくし こうじょう かつどう きょうりょく
福祉の向上のために活動・ご協力をいただき、あり
がとうございます。

たび ながねん かいちょう つと こいいじませんかいちょう あたら
この度、長年にわたって会長を務められた、故飯島前会長にかわり、新しく
かいちょう まか ふじもと もう ねが
会長を任された藤本と申します。どうぞよろしく願いいたします。

か かつどう むずか じせい おお しみん かがた ふくしかんけいしゃ
コロナ禍で活動するのも難しい時世ですが、多くの市民の方々や福祉関係者
しょうがいしゃ りかい ふくしいしき けいはつ ざいたく しょう しゃ かにゅう よ
に障害者への理解や福祉意識の啓発、また在宅の障がい者への加入の呼びかけ
など、皆さまと共に手を取り合い、福祉活動、レクリエーション、イベントなど、
たの きょうりょく うんえい おも
楽しく協力して運営していきたいと思ひます。

とうかい うんえい かつどう みな きょうりょく ねが
当会の運営、活動に、皆さまのご協力をどうかよろしく願いいたします。



身体障がい者部会

1年間、コロナのために活動が出来ませんでした。ですが、2021年11月6日には、日帰り研修旅行が出来ました。久しぶりにみなさんの笑顔がみられて嬉しいなと思いました。



これからも、コロナ感染症に気をつけながら、身体部会の会員の皆さまと共に、行いたい事、ご要望など、出来る限り実現していきたいと思っています。ぜひ、いろいろご意見ください。宜しくお願いします。

精神障がい者部会

精神障がい者部会は現在 8名の会員登録があります。皆さんと楽しく、また自己研鑽しつつ、会の運営に協力し、行事を行って行きたいと思っています。

また、新たな会員さんを募集していますので、いつでも声をかけてください。年明けには、部会活動としてボーリングなどを行いたいと考えています。

一緒に楽しく過ごして交流しよう。

みんな、マブダチになりましょう！



障がい児部会

私たち児童部会は9名の会員で構成されています。

現在子どもたちは、コロナ禍でさまざまな制限がありますが、社会に出たときに自分たちの力を発揮できるように、学校等で力を磨いています。

ようやくさわやかな風が吹き始め、1年半ぶりくらいに児童部会の活動が始まろうとしています。

これからの出会いを大切にして、経験を積んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。

++ 理事会の活動 ++

「災害に備えて」 - 避難所の段ボール間仕切りづくり -

9月に予定していた理事会・研修会は、コロナ患者急増で延期となり、10月15日(金)に行いました。

研修会には、出前講座として、大月市総務部 総務管理課の3名の職員が、市内の過去の災害(台風・線状降水帯による土砂崩落、大雪)の被害状況や、大月で想定される災害は何であり、どのように起きるのかなどをわかりやすく説明していただきました。

大事なことは、災害に備えること

- ① 普段から避難所を自分で確認する、地域の人に聞いておく
- ② 備蓄品(自宅に備えて災害時に役立つもの)や非常持ち出し品(避難した先で必要になるもの)を普段から用意しておく
- ③ 身を守るために、最新の情報を知る努力をする。(天気予報やニュースを聞くことは、被害を軽くしたり、避難のタイミングを見るのに重要です)

講座の後半は避難所で使う「段ボール間仕切り」づくりを体験しました。3分ほどで「仕切り」ができあがりました。家族3~4人が寝ころがることのできるスペースで、座ると、頭までかくれるほどの高さがあります。

今後は会員の皆さんにも体験していただき避難所訓練などを体験していれば、「避難所へいこう!」という時の心構えになるのではないのでしょうか。



★最近、大月市でも地震がつづいています。家具の転倒防止、停電になったら困ることなどを想像して、自分や家族を守る準備をしましょう。

++ 身体障がい者部会の活動 ++

すっきりとした秋晴れの日、11月6日（土）、
2年ぶりの身体部会の交流会を行いました。

バス旅なので、感染対策した上でマスク、消毒を
しながら行ってきました。

須玉の「3代校舎ふれあいの里」はとても広く、
段差があったり、歩いていくのには少し大変でしたが
見学した歴史資料館「明治校舎」は、鮮やかな青い

校舎で、外からだけでも見ごたえがありました。展示されている足踏みオルガン
を賛助会員の中村さんが弾いてくださり、時代を感じる音色に聞き入りました。

明野のりんご狩りは、今年是不作、りんごは終わりの時期で、みんなで試食と
購入を楽しんできました。ただ、障がい者用トイレがなくて不便さもありまし
た。

色々反省点もありましたが、身体部会として活動を無事にできて、みんなと
会えて良かったと思います。



++ 知的障がい者部会の活動 ++

秋も最後かな、と思われる11月28日（日）、
交流会（社会見学）を行いました。

知的部会は、参加人数も多く、感染対策
を万全にして、みんなが安心できる形での
開催とするために、バス2台をお借りして
山梨県内の社会見学に行ってきました。



- 参加者の声 -

『2年ぶりの部会の行事で、私は1週間前からすごく楽しみにしていました。
博物館では、展示されている小さな人形のいろんな仕草が印象的でした。
富士屋ホテルランチは、どれもおいしかったけれど、最後のケーキはお腹がいっ
ぱいで食べきれませんでした。私はお肉が大好きなので、お肉が出てきた時には
とても嬉しかったです。桔梗屋工場見学は、3回目の見学で、私には、包むのは
むずかしいけど、袋に入れることならできそうだな、と思いました。とても、楽し
い一日でした。』

またコロナが落ち着いたら、ほかの部会の人たちとも交流会をしたいです。』

『部会を実施するため、企画・実行していただいた役員さんに感謝しています。
本当にありがとうございました。』

この日は天候にも恵まれ、暖かい陽だまりの中、あちこちで写真を撮ったり、
久しぶりに友達に逢い、子ども達の元気な様子を見て、聞いて、嬉しく思いました。

ホテルのランチでは、慣れない手つきでナイフとフォークを持って、皆さんとて
も満足し、楽しくテーブルマナー体験ができたと思います。』



+++++ 身近にある障害者施設 & 事業所の紹介 +++++

今月号から、市内にある障害者施設 & 事業所を、「おたより」編集員が福祉の会の紹介と勧誘を兼ね、取材することになりました。会員さんが仕事されている姿を見たり、お話が聞けることを楽しみに！

まずは「地域活動支援センター」Ⅲ型と言われる事業所に出かけてきました。

《 作業所老舗「こわぜ」の紹介 》

昭和61年(1986年)「こわぜ母子福祉作業所」としてスタートし、平成20年(2008年)からは「大月市地域活動支援センターこわぜ」の看板を掲げています。

仕事内容は主に企業から請け負った軽作業



ですが、リボンレイやアイロンビーズなどの手芸品作りも加わり現在に至っています。軽作業の工賃と手芸品販売の売上は利用者の賃金に。コロナ禍で障害者関係のイベントが中止される中でも、来年に向けて手芸品は作り続けています。

また、誕生日会、クリスマス会、花見なども行っています。コロナ禍では行えない活動もありますが、小規模を強みに、誕生日会だけは、所内で感染対策を取りながら、行っています。



最後に 40年近く運営に関わっている藤巻国子さんから「昔は、保護者ががんばらないと…と言われていましたが、今の作業所に求められるのは、①送迎がある、②食事ができる、③グループホームがあることのように思います。今まで続けられたのは、やはり地域の方々との交流、温かい見守り、理解があったからです。お互いに挨拶をしていくことの大切さは、これからもずっと変わらないで欲しいと思います」と話されました。民営でスタートした昭和「こわぜ母子作業所」、そして平成「NPO法人こわぜ」。令和はどのように変化していくのでしょうか。

《 JOY (ジョイ) の紹介 》

令和3年4月1日に大月市地域活動支援センターとして開設したJOYさん。

メンバー（利用者）さんが安心して過ごせる「居場所」をつくることを目指しています。それは上手く言葉にできない不安な気持ちを聞きとり寄り添っていきたいと思います。JOYさんの中には温かくやさしい時間がながれているように感じます。



書道や絵画などの「創造的活動」と、軽作業の「生産的活動」を行っています。室内にはみなさんの作品がたくさん飾られていました。他にも関係団体や地域の諸行事に参加する「社会交流」、ひとり一人に応じた「日常支援」も行っています。特に月1回の食事は、皆で話し合いながら食べたいものを引き出し・栄養を考え・メニューを決めていくという、将来の自立への準備にもなる楽しい活動です。 コロナが落ち着いたなら何をしたいか聞いたところ・・・

＊体を動かすなどみんなでたのしめること

＊自分たちで作って自分たちで売る

＊何かを発表したい、そんな場所がほしい

＊近隣の皆さんを招いてバーベキューや書道教室

＊近隣のための草刈り

たくさんの希望が出てきました。これから楽しみです。

メンバーのYさんにお話をうかがいました。

『みんなでの活動が楽しく、みんなにやさしい場所です。自由に自分の気持ちを口にできて、色々なことができます。コロナがおさまったら、みんなでカラオケをしたいです。そして寝台車に乗って一人旅もしたいです。出雲大社や城めぐりに行きたいです。』



☆ JOYの施設を活用して、同じ場所で、令和4年1月より、社会復帰をめざす「就労継続支援B型事業所」を新たに開設します。

し やくしよ こうぶんしよ ふてきせつ とりあつか もう い けい か ほうこく 市役所への「公文書の不適切な取扱いについて」の申し入れ経過報告

がつ にち ふじもとけんぞうかいちよう かくりじ じむきよく しちようしつ い
10月28日、藤本兼三会長・各理事・事務局とで市長室へ行きました。

かいちよう こんかい しょうがいしえんくぶんにてい う さい こうぶんしよぎぞうじあん はっせいけいか
会長から、今回の障害支援区分認定を受ける際の公文書偽造事案の発生経過と
ぜんようかいめい む と く ていじ むね もうしい
全容解明へ向けた取り組みを提示してほしい旨の、申し入れをしました。

たい こばやししちよう こんかい けん かん しみん みなさま とく とうじしゃ
これに対し、小林市長から今回の件に関しては、市民の皆様、特に当事者であ
しょう しゃ かたがた しゃざい いっこく はや ぜんようはあく たんとうしよくいん
る障がい者の方々への謝罪と、一刻も早い全容把握をするため、担当職員を
ぞういん たいおう はなし
増員して対応していますとの話がありました。

し ふくしかちよう ぞういん めい しよくいん ふく みんな がいとうしゃ ちようさ すす
つづいて、市福祉課長から増員した2名の職員を含め皆で該当者の調査を進
なか めい ふりえき で せつめい
める中、46名に不利益は出ておりませんでした、との説明がありました。

さいご りじ ぜんいん こんごしょうがいしゃふくし りようしゃ ふりえき しょう
最後に、理事の全員で、今後障害者福祉サービスの利用者に不利益が生じな
てきせい しょうり とりくみ しちよう たんとうかちよう ねが
いよう、適正な処理の取組を市長と担当課長にお願いしました。

こんかい もう い たい しどうきよく かいとう ないよう じごう けいさい
※今回の申し入れに対し、市当局から回答がありましたら、内容を次号に掲載します。

● こんご よてい 今後の予定……

★ しょう じぶかい 障がい児部会

がつ にち げつ
12月13日(月)

ほごしゃ こうりゅうかい じゅんび
保護者交流会とクリスマス準備

★ せいしんしよく しゃぶかい 精神障がい者部会

がつごろ よてい
2月頃を予定

こうりゅうかい
ボーリング&ランチ交流会

へんしゅうこうき 編集後記

ねんまえ しこうほう しょうがいしゃしゅうかん と あ
2年前から、市広報では「障害者週間」について取り上げ
ぎょうせい てあて せつめい すう か
行政の手当の説明なども数ページをさいて書いていますね。
じぶん す ちいき しょうがいしゃしえん し かしこ りよう
自分の住む地域の障害者支援サービスを知り、賢く利用し
てください。そして、こま こえ だ ひと
困っていることを声に出して、人に
はな だれ き いっしょ かんが
話してください。きっと誰かが聞いていて、一緒に考えま
あきら
すよ。諦めないで。



れんらくさき じむきよく おおつきししゃかいふくしきょうぎかい ちいきふくしたんとう
連絡先【事務局】 大月市社会福祉協議会 地域福祉担当

大月市大月町花咲10番地 大月市総合福祉福祉センター1階
でんわ：23-2001 ファックス：22-2861
メール：kamijo-006@otsuki-shakyo.jp